



※環境省
エコアクション21
認証番号 0003119

エコアクション 21 環境活動レポート



運用期間：令和5年1月～12月

令和6年3月31日発行

目 次

1. 組織概要
2. 環境システム組織図
3. 環境方針
4. 環境目標と実績
5. 活動内容
6. 環境活動計画の取組結果と評価
7. 環境法規制の遵守状況
8. 代表者の評価



組織概要

会社概要

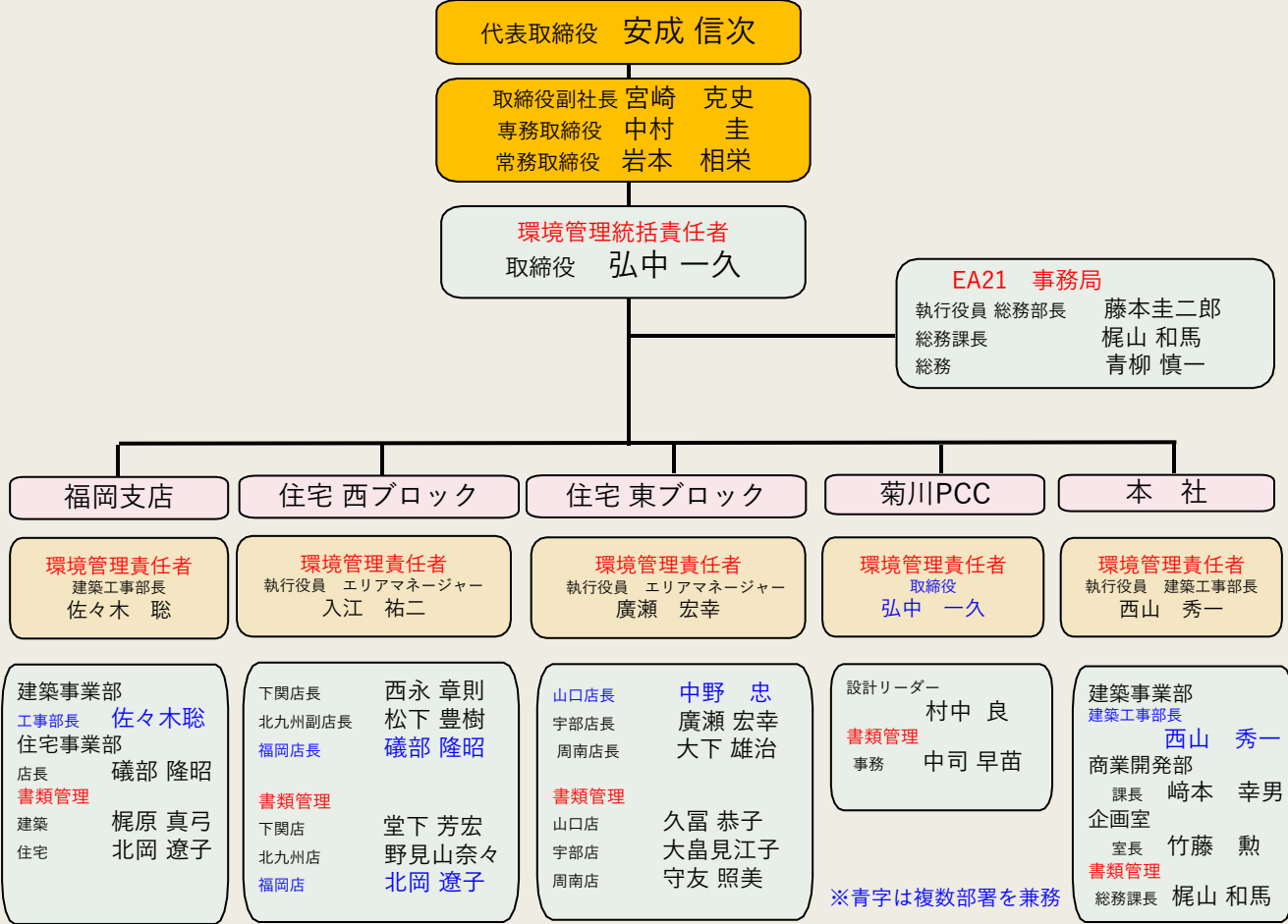
社名： 株式会社 安成工務店
代表者： 代表取締役 安成 信次
所在地： 〒751-0865 下関市綾羅木新町3丁目7番1号
TEL 083-252-2419 FAX 083-252-2720
URL <http://www.yasunari-komuten.com>
支店： 下関・山口・宇部・周南・北九州・福岡・菊川PCC
事業活動： 戸建住宅・一般建築の設計施工・商業施設の企画開発
木材加工、ペレット製造販売
許可業種： 建築、内装仕上、大工、左官、石、屋根、板金、ガラス、塗装、
防水、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、熱絶縁、建具
とび・土工、解体
資本金： 7,200万円
従業員数： 178名（令和5年12月）

認証登録

認証登録名：株式会社 安成工務店
認証登録日：2008（平成20）年12月1日
認証登録番号：0003119
認証登録事業所：本社・下関・山口・宇部・周南・北九州・福岡・菊川PCC
環境管理統括責任者：取締役 弘中 一久
EA21事務局：総務部 藤本圭二郎・梶山和馬・青柳慎一・阿立珠羅



環境システム組織図



役 職	役 割
代表取締役	全体統括、環境方針の設定、取組を実施するための資源準備、全体の評価と見直し
専務取締役	環境経営システム運用状況に対し、的確なアドバイスを行う。
環境管理統括責任者	環境管理責任者を統括し、環境運営システムの構築、運用を指示する。
環境管理責任者	各担当部署長として事務所をはじめ、現場での運用を指示する
EA21 事務局	各部署の運用補助、文書作成指示および維持、管理を行う。

環 境 方 針

基 本 理 念

弊社は、建設業を主な事業とし、その総ての事業活動について地球環境の保全を経営の最重要課題と位置づけ、事前環境との調和・共生に配慮し循環社会の構築に努めます。

行 動 計 画

弊社は、山口・福岡県地域を中心に事業を展開する中で、事業活動における環境への影響を理解し、自ら責任を持ち社員一丸となってエコアクション21環境経営システムを構築・運用し、継続的な環境への負荷の削減に努めます。

以上、以下に示す環境への取組を積極的に推進します。

1. 環境関連法規制とその他要求事項を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善と汚染予防に努めます。
3. 環境への負荷を軽減するため、次の活動を実施します。
 - 1) 地球温暖化防止のため、省エネルギーを推進します。
 - 2) 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することによりリユース・リサイクルに努め、廃棄物を削減します。
 - 3) 省資源に努め、使用する資材のロスを減らすことに取組みます。
 - 4) 使用する水の削減に取組みます
 - 5) 建設現場において環境に配慮した資材の使用、工法に取組みます。
 - 6) 環境にやさしいグリーン購入を推進します
 - 7) お客様に省エネルギーや環境負荷の低い工法や建材の提案を実施します。

本環境方針は、教育や日常活動を通じて全社員に周知徹底するとともに、環境保全に関する意識を高め、社内における環境保全状況の知識・認識の向上を図ります。

制定：平成19年12月10日
改訂：平成24年12月10日

株式会社 安成工務店

代表取締役 安成 信次



中期環境目標

★環境目標

環境目標	単位	R04	R05	R06	R07
		実績	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量の削減	t-CO ₂	347.6	320.0	288.7	259.8
電気使用による	t-CO ₂	10.9	9.7	8.7	7.8
ガソリン使用による		336.7	310.0	280.0	252.0
電気使用量の削減	kWh	409,406	405,325	331,618	298,456
社員数	人	178	180	180	180
1人当たり	kWh	2,294	2,047	1,842	1,658
ガソリン使用量の削減	L	133,653	127,590	108,258	97,430
車両保有台数	台	88	90	90	90
1台当たり	L	1,518	1,336	1,202	1,082
産業廃棄物排出量の削減	T	5,513	4,961	4,464	4,017
総排水量の削減	m ³	1,637	1,480	1,480	1,480

※ R05以降の目標はR04実績を基準値として設定し直しました。

※ 二酸化炭素排出量目標値根拠：電力使用による排出量は、再生可能エネルギー100%電力の供給により、宇部支店のみの排出量となる。

※ 令和4年度環境省・経済産業省公表の電気事業者別排出係数の調整後排出係数を基に算出しています。
(中国電力：0.000529 t-CO₂/kWh みんな電力：0.000 t-CO₂/kWh)

★本来業務による環境保全目標

次年度目標		単位	R04	R05		R06		R07	
			実績	目標	率	目標	率	目標	率
年間完成棟数		棟	77	103		110		120	
CO ₂ 排出量 基準値	建物全体	t-CO ₂	169	226	130	242	140	264	150
	断熱材		261	350		374		408	
OMソーラー システム	完成棟数	棟	54	70		75		81	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	59	77	120	82	130	89	150
	CO ₂ 削減量		59	77		82		89	
セルロース ファイバー	完成棟数	棟	77	103		110		120	
	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	77	103	130	110	140	120	150
	CO ₂ 削減量		184	247		264		288	
木材CO ₂ 固定量	完成棟数	棟	77	103		110		120	
	木材使用量	m ³	2,070	2,700	130	2,900	140	3,100	150
	CO ₂ 固定量	t-CO ₂	1,238	1,610		1,730		1,900	

活動内容

R5年 活動計画内容

エコアクション21での各種目標達成に向け、下記の活動を計画し実施しました。
各活動計画に対して担当者を設け、PDCAサイクルが円滑に回る体制を構築しました。

活動内容	具体的実施項目	担当者
電力使用量の削減	1. 空調機の適正温度管理 2. 未使用の部屋の消灯、空調OFF 3. 室外機等の定期点検（老朽化した設備対応） 4. Web会議導入による会議室利用頻度の削減 5. 働き方改革推進につき残業時間の削減（定時退社の励行）	部署長 事務担当
ガソリン使用量の削減	1. 建築現場巡回方法の見直し ・社員携帯と連動した住宅クラウド・現場カメラを導入し、日々の作業状況を確認 ・施工リーダーを配置、事務所内から担当者指示 2. ハイブリッド車・エコカーを積極的に導入 3. Web会議導入による移動の伴わない会議形式推奨 ・燃料、時間の節約	部署長 工務担当 社用車利用者
廃棄物排出量の削減	1. 資料ペーパーレス化 ・紙媒体資料の削減 ・Web会議推進による保存データの共有化 2. 産業廃棄物マニフェストの管理 3. 産業廃棄物の分別の徹底	工務担当 事務担当
排水量の削減	1. 漏水対策等の異常値チェック 2. 雨水の利用や自動散水機の導入	事務担当
本来業務での活動	1. OMソーラーシステム完成棟UP 2. セルロースファイバー製造数UP 3. 木材CO₂固定量制度の普及促進（全棟登録） 4. SNS（Facebook、Instagram等）の活用	各部署長 営業担当

R5年活動実績

環境目標		単位	R05 目標	R05 実績	評価	率
二酸化炭素排出量の削減		t-CO ₂	320	318	○	100.6%
電気使用量の削減		kWh	405,325	388,117	○	104.4%
	社員数	人	180	180	×	94.9%
	1人当たり	kWh	2,047	2,156		
ガソリン使用量の削減		L	127,590	125,620	○	101.5%
	保有数	台	90	93	×	99.2%
	1台当たり	L	1,336	1,350		
産業廃棄物排出量の削減		t	4,961	3,054	○	110.2%
総排水量の削減		m ³	1,480	1,631	×	90.7%
環境配慮製品	OMソーラーシステム	棟	70	32	×	45.7%
	デコスファイバー	棟	103	75	×	72.8%
	木材CO ₂ 固定量	t-CO ₂	1,610	1,350	×	83.8%

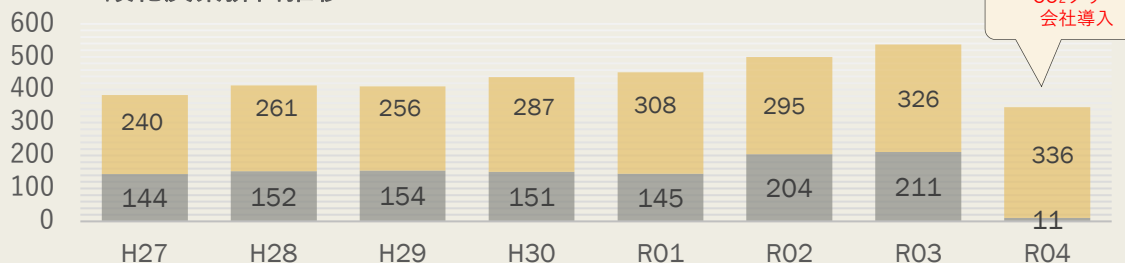
※令和4年度環境省・経済産業省公表の電気事業者別排出係数の調整後排出係数を基に算出しています
(中国電力：0.000529 t-CO₂/kWh みんな電力：0.000 t-CO₂/kWh)

★次年度の環境目標は中期目標を継続するが、二酸化炭素排出量については令和4年度の実績マイナス1%を目標値とする。

過去の活動実績

環境負荷項目	単位	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04
二酸化炭素排出量	t-CO ₂	413.3	410.3	438.2	452.5	499.6	537.1	347.6
電気使用量	kWh	319,427	323,468	312,635	299,355	401,977	411,578	409,406
社員数	人	142	142	153	161	175	184	178
	1人当たり	kWh	2,249	2,278	2,043	1,859	2,297	2,228
ガソリン使用量	L	112,541	110,207	115,062	118,652	127,250	141,158	133,653
保有数	台	73	75	82	79	106	65	88
	1人当たり	L	1,542	1,469	1,403	1,502	1,200	2,171
廃棄物排出量	t	6,487	6,428	4,958	4,992	5,766	4,865	5,513
水道使用量	m ³	1,484	1,371	1,414	1,794	1,596	1,658	1,637

二酸化炭素排出推移



環境活動の取組結果と評価

電気およびガソリン使用によるCO₂排出量

【取組内容】

電気： 空調機の適正温度の徹底。夏季・冬季に入る前に設定温度の確認
働き方改革推進項目の残業時間削減の励行

ガソリン： アイドリングストップ。インターネットや現場カメラを活用した
遠隔指示により車両使用を抑制

【結果】

電気： CO₂フリーの電力会社導入により、二酸化炭素排出量は大幅に削減できた
また、支店統合を図ることで、各支店の運営方法を見直すことで取り
組みを継続してできている

ガソリン： web会議の継続、現場カメラを導入するなど移動時間を短縮対策を講じた
結果、削減ができています

水道使用量および廃棄物排出量

【取組結果】

水道： 使用量はほぼ横ばいであるが、漏水のチェックとして取組を継続している

廃棄物： 年間の取引量や規模により変動するため、分析が難しい。
今後は、廃棄物が正しく処分されているか、法規遵守の観点でチェックする
指標として検討する

環境配慮製品

【取組結果】

完成棟数： 物価高の影響による受注件数に伴い、OMソーラー及びデコスファイバー
の棟数が減少した

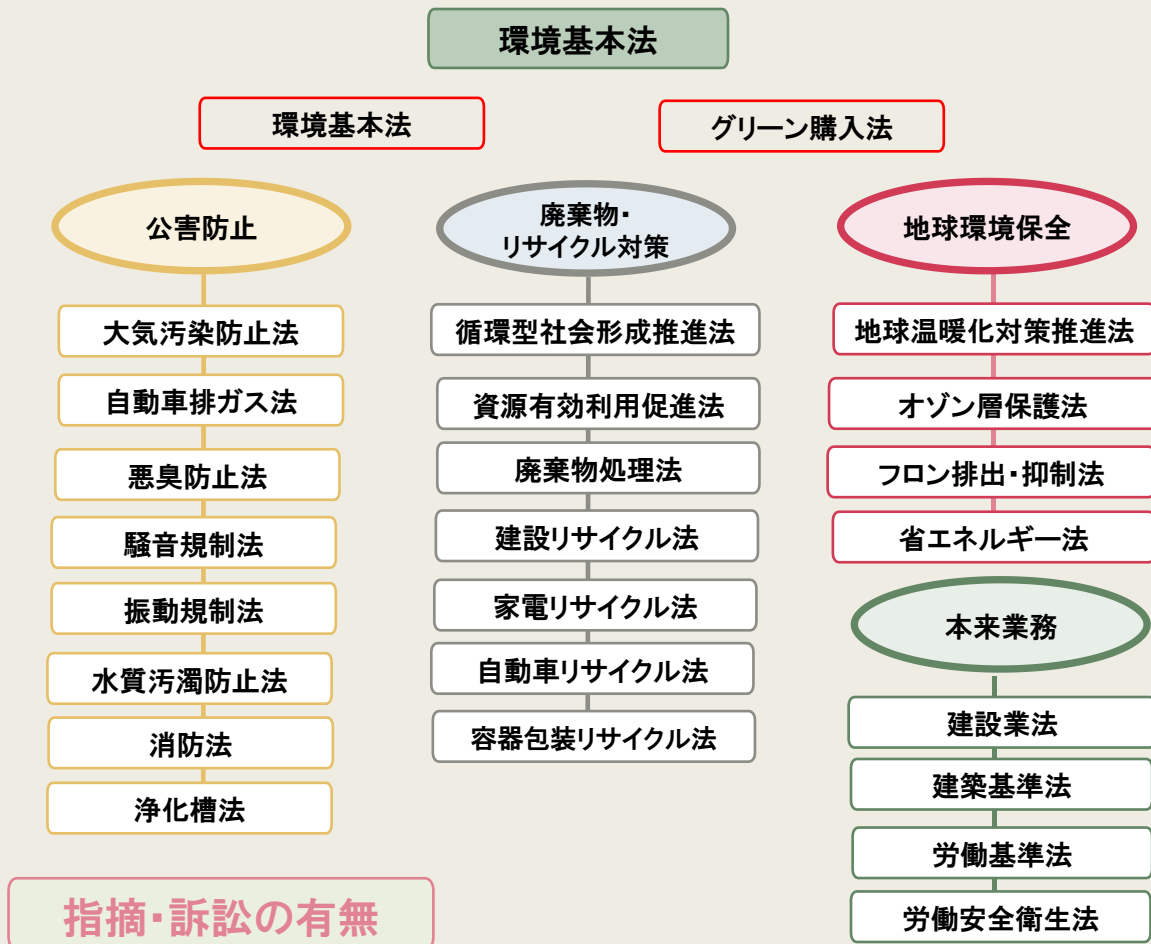
木材CO₂固定量： 完成棟数の減少により目標未達となった

★ 次年度の環境活動計画は従来の取組を継続する

環境経営方針の見直し	不要
環境経営目標・計画の見直し	不要
実施体制の見直し	不要

環境法規制の遵守状況

環境法規制の遵守チェックおよび評価を行った結果、環境関連法規制への違反はありません。当社に関わりがある主な環境関連法規は以下の通りです。



指摘・訴訟の有無

環境法規制の遵守活動を通して、過去 6 年間にわたり、関係当局よりの違反等の指摘はありません。また、周辺住民からの苦情もなく、訴訟についてもありません。

代表者の評価

令和5年は電力の購入先を変更した結果、二酸化炭素排出量は大幅に削減できました。ガソリン使用量については今後も継続してWeb会議の標準化やクラウドの有効活用、テレワーク制度の推進で異常値が発生しないように努めていきます。

わが社は環境と共に暮らす家づくりをモットーとした企業です。本業である家づくりにおいて、OMソーラーによるCO2削減やセルロースファイバーによるリサイクル率UPなど 地球環境に貢献できる内容をたくさん持っています。今後は本業でのプラス目標も強化し、社内外とも環境に配慮した会社を目指します。